

Ⅰ 調査概要

(1) 調査目的

府内の識字・日本語教室における活動状況の詳細な実態を把握し、識字・日本語センターと協働して府民に各教室の情報提供を行うとともに、今後の識字・日本語の学習環境の検討に向けた基礎データを得ることを目的とする。

(2) 調査対象

府内各市町村がこれまでに把握している府内のすべての識字・日本語教室（市町村所管外の教室も含む。）

（合計 227 教室／回答教室数 199 教室）

(3) 調査方法

各市町村識字・日本語学習担当課を通じて、その市町村管内の識字・日本語教室に調査票を配付し、学習者数、教室運営上の課題やニーズなどを尋ねる「アンケート調査」への回答を依頼した。

(4) 調査期準日

令和7年10月1日

(5) 市町村別調査対象教室数

